

2021年10月30日(土)

関東学生アメリカンフットボール連盟広報誌

〈TODAY'S GAME〉

1部リーグBIG8 第2節

第1試合 12:00K. O.
横浜国立大学-国士舘大学
第2試合 14:30K. O.
日本体育大学-駒澤大学

INTERCEPT

1部BIG8 Bブロック						
	日体大	横国大	駒澤大	国士舘	勝点	勝-負
日本体育大学	—			0●6	0	0-1
横浜国立大学		—	100		3	1-0
駒澤大学		0●1	—		0	0-1
国士舘大学	600			—	3	1-0

・横浜国立大学-駒澤大学は、駒澤大学が新型コロナ陽性者発生に伴う濃厚接触者の特定が完了しなかったため中止とする。
横浜国立大学は不戦勝で勝ち点3を得る。

【横浜国立大学】『緊縮一番』

国士舘戦は『TOP8昇格』を掲げる私たちにとって大一番の試合となる。必ず勝利を挙げるべく3週間努力を積み重ねてきた。絶対に勝つという気持ちを高め続けた3週間。会場で想いを爆発させる。

《主将から一言》勝てばTOP8昇格に近づく大一番です。試合ができることに感謝し、チーム一丸となって勝利を掴み取ります。

《注目選手》4年 OL/DL #58 松葉 亮汰(国立広島大学附属福山)・・・DL chiefとしてPartを牽引する。日々反省し、練習を積み重ねて培った技術でOLに襲いかかる。

【国士舘大学】『魂』

第1節は、最後まで集中力を切らさずに取り組むことができた。横国大戦も再び挑戦者として全力で臨み、最後まで国士舘の魂とフットボールを見せる。

《主将から一言》Rhinosの強みであるスピードとスタミナを生かして一昨年のリベンジを果たします。

《注目選手》4年 LB #40 樋口 龍弘(日本工大駒場)・・・コロナ禍にあっても全く揺るぎなくチームをリードしてきた闘将。このゲームに4年間の全てを賭ける。

【日本体育大学】『負けられない一戦』

TOP8に返り咲くためには負けられない一戦。激しく泥臭く勝利を追い求める。

《主将から一言》TOP8昇格への道は絶たれていません。必ず勝ちます。

《注目選手》4年 WR #13 金澤 醇至(名城大附属)・・・ここ1番の勝負どころでビッグプレーを起こす。最後の最後まで彼のプレーに注目。

【駒澤大学】『必勝』

第1節が無くなりこれが私たちにとっての初戦となりました。部員一同勝ちに対する想いは強まり、より一層力を増した様子をお届けします。

《主将から一言》リーグ初戦の横国大戦が不戦敗となってしまう、チームとしてこの上ない悔しさを経験しました。まずはコロナ禍でアメフトができる事への感謝の気持ちを忘れず、残りの試合に臨みたいと思います。次戦の日体大戦では、一人一人が自分の役割を徹底し、チーム一丸となって全員で戦い勝ちを掴み取ります。

《注目選手》2年 RB #0 金山 太陽(神奈川県立横浜立野)・・・彼の素早いランでロングゲイン、TDを量産します。